



KEIO GIRLS SENIOR HIGH SCHOOL

School Guide



Index

- p.01* 校長からのご挨拶
- p.02-05* 様々なキャリアの卒業生たち
- p.06* 学校概要
- p.07-09* カリキュラム
- p.10* 年間日程
- p.11* 三人行事
- p.12-15* 学校生活
- p.16* 学校施設
- p.17* アクセスマップ

*Greetings*

校長からのご挨拶

慶應義塾女子高等学校

校長 森 さち子



慶應義塾女子高等学校に足を踏み入れた時、まず目に入るのは、日本庭園に通ずる江戸時代の門と学びの場に向かうブリッジです。はじめて女子高を訪れた時、そこに現れているコントラストに私は強い印象を受けました。過去と未来が交錯するこの空間は、まさに伝統を受け継ぎながら未知の世界を拓いていく本校を象徴しているかのようです。

160年余り前、慶應義塾の創立者 福澤諭吉先生は、鎖国から開国へと向かう時代の中で、「独立自尊」を説きました。「独立自尊」とは、すなわち自他の尊厳を守り、何事も自分の判断、責任のもとに行うことを意味します。福澤先生はこれを慶應義塾の基本精神としました。そして学問を修める過程においては、「智徳」と「気品」をことのほか重視しました。「智徳」と「気品」を備えた人格こそ、社会を先導する者にふさわしいと考えていたからです。そこに慶應義塾の真の目的を置き、門下生たちにその志を託しました。

慶應義塾女子高等学校は、1950年（昭和25年）に慶應義塾の一貫校として創設されました。それ以来70余年、本校の気風は慶應義塾の伝統的な理念・文化の中で育まれてきました。また、新たな時代を切り拓く教育実践において、私たちは「自由・開発・創造」を大切にしています。十代半ばから後半にかけての高校生活は、いわば思春期の総仕上げの時期です。多感で好奇心に溢れた女子高生が自分を見失わず、それぞれに抱く夢に向かって知性を磨いてほしいと願っています。そして自由な校風の中で、かけがえのない資質が開花することを期待しております。

本校の門をくぐる生徒一人ひとりが、慶應義塾、そして女子高等学校の理念を身をもって体験し、成長し、やがてこの学舎から巣立ち、社会で活躍する多くの卒業生と共に、さらに羽ばたいていくことを教職員一同、楽しみにしております。

様々なキャリアの卒業生たち



19回生 ～1971年卒業～

向井千秋さん

慶應義塾女子高等学校に在学していた三年間は、とても楽しい時間でした。生徒たちはひとりひとりが型にはまることなく、のびやかで、しなやかで、たくましかった。そして、きらりと光る自分らしさを秘めていた。その一番の理由は、校風がすごく良かったからだと思います。受験校ではないこともあると思いますが、先生たちは、受験のための知識よりも自由な発想で学問を楽しむ情熱や面白さを教えてくれた。生徒に対して、こうあるべきという“大人にとっての理想の生徒像”を押し付けることなく、ひとりひとりの個性を重んじて、自由に過ごさせてくれた。かといって放任するのではなく、自分の進む道は、自己責任の中で、自分で決めて生きていきなさいと後押ししてくれた。まさに、福澤諭吉先生の教育理念である「独立自尊」が体现された教えだったように思います。

十代の多感な時期に、そんな時間が持てたことはとてもラッキーでした。おかげで社会に出てから、辛いことがあっても自分を信じていられたし、やりたいと思う気持ちを貫いて、自由にいろいろなことにチャレンジできたと思います。

私が体験した教えは今も変わることなく続いていて、後輩たちもまた自由で明るく、楽しく、自信をもって自己の存在や意思表示をする人たちになっている。それが、とても嬉しいです。「のびやかで・しなやか・たくましく」生徒が育つとても良い校風の我が母校を誇らしく思います。

Career path

慶應義塾女子高等学校

慶應義塾大学医学部

外科医(医学博士)

宇宙飛行士(日本人女性初)／
JAXA 宇宙医学生物学研究室長
他



64 回生のみなさん ～2016 年卒業～

足立柚佳さん (左)

女子高ならではの行事や授業、本気で全国大会を目指したクラブ活動など、芯を持った友人や優しく見守ってくださる先生方に囲まれ、とても有意義な三年間を過ごしました。視野や興味の幅を広げてくれた場所です。

Career path

慶應義塾女子高等学校
慶應義塾大学文学部(図書館・情報学専攻)
株式会社時事通信社 記者

林香穂さん (左2番目)

様々な価値観を受け入れてくれる校風の中で、学校生活をのびのびと送ることができ、自分らしさを大切にできました。沢山の魅力的な友人に出会えたおかげで、社会に出てからも人との出会いが楽しみになりました。

Career path

慶應義塾女子高等学校
慶應義塾大学法学部法律学科
慶應義塾大学大学院法務研究科 司法試験合格
裁判官

奥村薫里香さん (中央)

多才で多様な人たちと過ごした三年間は、とても刺激的でした。周りとは違う選択をしても、それを応援してくれる友人と先生に出会えたこと、そのおかげでやりたいことに挑戦する勇気と行動力を得られたことはかけがえない財産です。

Career path

慶應義塾女子高等学校
慶應義塾大学理工学部生命情報学科
慶應義塾大学大学院理工学研究科 ケミカルバイオロジー学会ポスター賞
アクセンチュア株式会社 戦略コンサルタント

梶浦つばささん (右2番目)

学校行事を通して全力で取り組む楽しさを知り、自分の役割を考えて行動すること、相手の価値観を尊重しつつ自分の考えを発信することの大切さを学びました。三年間で形成された価値観は、自信になりました。

Career path

慶應義塾女子高等学校
慶應義塾大学法学部政治学科
全日本空輸株式会社 グローバルスタッフ職

笹結希さん (右)

女子高で培った何事へも挑戦する心は、今も私の基盤です。女子高では自らの道を切り拓き、やりたいことに果敢に挑戦している友人に囲まれていました。今でも多くの刺激を受けていて、モチベーションになっています。

Career path

慶應義塾女子高等学校
慶應義塾大学経済学部 交換留学にて1年間シンガポール留学
慶應義塾大学大学院経済学研究科
日本マイクロソフト株式会社 パートナーテクノロジーストラテジスト 慶應義塾大学大学院経済学研究科 (後期博士課程に在学中)

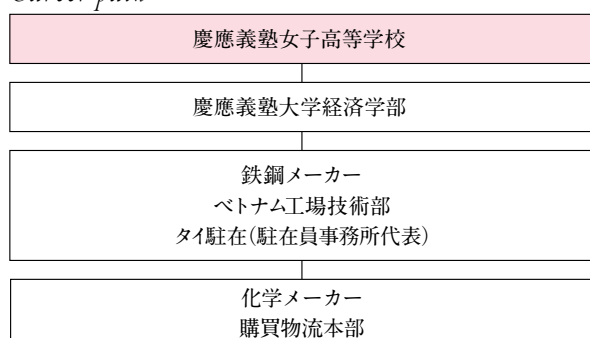


57 回生のみなさん ～2009年卒業～

軽部友茉さん

女子高での三年間は、すべてが充実した楽しい日々でした。女子高は色彩豊かな個性が集まる素敵な学校です。勉強だけではなく、スポーツ、芸術など、それぞれが輝く"才能"に溢れていて、それを認め合う素晴らしい校風です。特に所属していた庭球部では、自分自身がどうありたいのかをしっかりと考えることができました。一人ひとりが輝いているから私も頑張ろうと思えました。私は海外で国籍や考え方の違う多様な人たちと仕事をしてきましたが、女子高で培われた強い気持ちで、どんなことにもチャレンジする勇気を持ち続けることができています。女子高で切磋琢磨できる仲間と出会えたことは私の一生の宝物です。

Career path

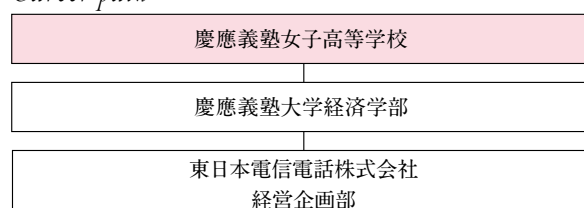


中村千晴さん

今の私は女子高の三年間で形作られたと言い切れるくらい、色濃い日々でした。新入生向けオリエンテーションで、アクティブでパワフルな先輩に憧れ3年生で生徒会長になりました。仲間と共に生徒会活動に日々没頭しました。才能溢れるメンバーに囲まれる中、自分ができることを常に考え、周りを最大限に活かし輝かせるリーダーシップが身に付きました。また、岐路に立った時に一緒に悩み、行事やクラブ活動を下支えしてくださる先生方の存在も大きかったです。

今の仕事では、各方面の人たちを巻き込みながら成果を出していく役割を担っていますが、女子高時代のあらゆる経験が糧となり、自信を持って取組んでいます。

Career path





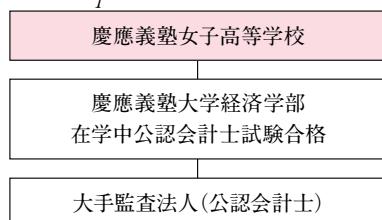
54回生のみなさん ～2006年卒業～

齋藤杏奈さん

思い返すと、慶應女子高に合格したあの日、私の人生は大きく動き出しました。生徒会で会計監査局長を務めたこと、友人と先生のところに押し掛けて将来について語り合ったこと、そんな女子高での経験の全てが今の自分に繋がっていると実感します。

女子高には生徒一人一人が活躍できる機会が存分にあります。多彩で快闊な仲間と共に切磋琢磨した経験は、私に広い視野とチャレンジ精神を与えてくれました。最高の環境でのびのび好きなことに没頭し、バイタリティ溢れる友人と駆け抜けた三年間は、今も褪せることのない私の大切な宝物です。

Career path



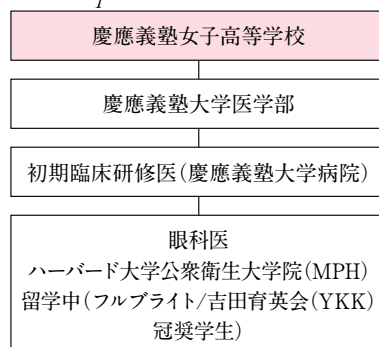
※「女子高」という記述はすべて慶應義塾女子高等学校を指します。
※キャリアパスは取材時時点のものです。

羽入田明子さん

高校受験では、国立大学の附属校を含め複数校合格していましたが、自由でのびのびとした校風に憧れ、慶應女子高に入学しました。受験がない分、課外活動や行事に思い切り取り組めること、第二外国語など幅広い選択科目を履修できることも女子高ならではの魅力です。

医師として歩み始めたばかりですが、今日の医療技術の進歩は著しく、職域を超えたチーム医療が不可欠です。まさに、女子高時代に培われたそれぞれの個性を尊重し、皆で協力して一つのものを成し遂げるという経験がそのまま活かされていると思います。

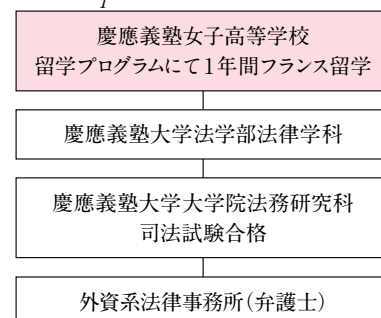
Career path



瀧澤 渚さん

国際的な仕事がしたい。その夢を叶えられる場所だと思い、私は女子高への進学を決めました。入学後は、国際ロータリークラブの奨学生としてフランスに留学しました。そしてそこで国際弁護士になるという新たな夢を見つけました。弁護士には文章力が不可欠です。女子高では80枚創作など文章を書く課題が多々あり、先生方の丁寧なご指導や才能豊かな友人たちから受けた刺激のおかげで、文章力に自信をつけることができました。私にとって女子高は、好きな勉強に打ち込み、夢を見つけ、それを叶える力を身につけることができたかけがえのない場所になりました。

Career path



学校概要



慶應義塾の建学の理念

慶應義塾の創立者福澤諭吉は、学問を修める過程で、「智徳」とともに「気品」を重視し、社会の先導者にふさわしい人格形成を志しました。福澤が門下生たちにその志を託した「慶應義塾の目的」と呼ばれる一文があります。「慶應義塾は単に一所の学塾として自から甘んずるを得ず。其目的は我日本国中に於ける気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、之を實際にしては居家、处世、立国の本旨を明にして、之を口に言ふのみにあらず、躬行実践、以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり」これは慶應義塾の真に目的とするところを最も簡明に言い表した一文として知られています。明治5年、福澤諭吉は『学問のすゝめ』初編で学問の重要性を説き、「身も独立し家も独立し天下国家も独立すべし」と教えました。この精神は「独立自尊」の四字に要約され、慶應義塾のモットーとなっています。

慶應義塾女子高等学校の教育理念

「独立自尊」の精神の涵養(かんよう) ～自由・開発・創造～

本校は生徒を細かな校則で型にはめるのではなく、それぞれの個性を尊重しながら、自由な雰囲気の中で共に学ぶ学校です。慶應義塾は一貫教育を行っており、大学入試を目的にすることはありません。生徒が自由に学び、一人ひとりの中に眠る優れたものを自らが考え、開発・発育させ、そして自身の生き方・新しい世界を創造してゆく機会や場をつくるのが、慶應女子高の教育です。福澤諭吉が説いた「独立自尊」の精神は、本校の教育の中に脈々と生きています。自分を大切に、他人の立場と意見を尊重し、自分を愛する気持ちで隣人を愛する人となるよう、知性を磨き情操を育てるのです。

慶應義塾と本校の歴史

安政5年(1858)	江戸築地鉄砲洲に蘭学塾を開く。福澤塾と呼ばれる。
慶應4年(1868)	芝新銭座に移り、「慶應義塾」と命名する。
明治4年(1871)	現在の三田山上に移る。
明治7年(1874)	和田塾による初等教育を始める。後に幼稚舎となる。
明治23年(1890)	大学部を設け、文学科・理財科(後の経済学部)・法律科が置かれる。
明治31年(1898)	普通学科を設置し、中等教育を始める。後に普通部となる。
昭和22年(1947)	中等部を設置し、男女共学を始める。
昭和23年(1948)	幼稚舎、男女共学となる。高等学校と志本高等学校を設ける。
昭和25年(1950)	女子高等学校を現在地に設ける。
昭和49年(1974)	女子高等学校の現校舎が完成する。
平成2年(1990)	ニューヨーク学院(高等部)を設ける。
平成4年(1992)	湘南藤沢中等部・高等部を設ける。
平成12年(2000)	女子高等学校創立50周年を迎える。
平成25年(2013)	横浜初等部を設ける。
平成26年(2014)	女子高等学校の別館が完成する。



カリキュラム

豊富な選択科目の中から、 興味のあるものを

1年次には、特定の分野に偏らない幅広い基礎的な知識と教養を習得します。教員の目がより届きやすい環境で授業を行なうことを目的に、数学・情報・英語の授業では、1クラスの人数を半分に分割しています。

2年次からは豊富な選択科目が設置されています。選択科目では、生徒各自の進路や知的興味に応じた専門的・学究的な知識と教養を習得していきます。

3年次ではさらに多彩な選択科目の授業が増え、本校教員だけでなく慶應義塾大学の教員が担当する専門的な内容の授業を履修することもできます。

他にも企業訪問や美術館見学、伝統芸能の舞台鑑賞など、学校外で実施される学習活動にも積極的に取り組んでいます。生徒の自発的な興味を引き出し、将来進むべき道、それに必要な学問を自分で選択する機会を提供することも本校のカリキュラムの特色といえます。



第1学年設置科目

必修科目	〈32時間〉	現代の国語、言語文化、地理総合、公共、数学Ⅰ、数学A、化学基礎、生物基礎、体育、英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰ、家庭総合、情報Ⅰ、総合的な探究の時間、HR
必修選択科目	〈2時間〉	芸術（音楽Ⅰ、美術Ⅰ）

第2学年設置科目

必修科目	〈26時間〉	文学国語、古典探究、歴史総合、政治・経済、数学Ⅱ、物理基礎、体育、保健、英語コミュニケーションⅡ、家庭総合、総合的な探究の時間、HR
必修選択科目	〈2時間〉	外国語（論理・表現Ⅱ、ドイツ語、フランス語、中国語）
自由選択科目	〈6時間〉	国語演習、地歴演習、公民演習、数学B、化学、生物、理科演習、工芸Ⅰ、書道Ⅰ、器楽A、声楽A、絵画A、英語演習、家庭演習、情報Ⅱ

第3学年設置科目

必修科目	〈14時間〉	論理国語、古典探究、体育、英語コミュニケーションⅢ、総合的な探究の時間、HR
必修選択科目	〈6時間〉	地理歴史（日本史探究、世界史探究）、外国語（論理・表現Ⅲ、ドイツ語、フランス語、中国語）
自由選択科目	〈14時間〉	国語演習、社会演習、数学Ⅲ、数学C、数学演習、物理、化学、生物、科学と人間生活、地学基礎、理科演習、体育演習、器楽B、声楽B、絵画B、造形、総合書道、英語演習、家庭演習、情報Ⅱ、情報演習

教科の特色

国語科

文系理系を問わず、現代文と古典を三年間必修科目として、高度な日本語の表現能力と深い思考、豊かな感受性を育みます。『羅生門』『こころ』『源氏物語』などを精読する授業に加え、唐詩「長恨歌」の暗誦・小説創作・論文の基礎を学ぶ国語科レポートといった課題を全員に課していることも大きな特色です。選択科目では、アナウンサーによる「話し方」の授業や、大学からの講師と専任教員の専門分野をいかした講義を取り揃え、課外でも美術館や舞台鑑賞などの機会も設けています。



社会科

1・2年生で必修科目を終え、3年生で日本史探究か世界史探究のどちらか1科目を選択します。教師の専門性を活かした授業により、暗記で終わるのではなく、過去と現在、東洋と西洋、理念と制度など科目の枠を越えて知識を繋げたり比較したりする視点が養われます。学んだことを生徒自身が関連付けて理解し、多面的な思考力を持って、記述や口頭で表現できるようになることが目標です。多様な自由選択科目は大学教員なども担当し、各人の興味に応じて履修することができます。



数学科

本校の数学では、大学入試に特化したテクニックではなく、数学の根本的な理解をしてもらうことを重視しています。これは、将来直面する問題が正解があるものばかりではないからです。数学の根本的な理解は、独創的な発想を構築するための一つの部品になります。その部品を磨いておくことに重点をおいて、授業を進めています。また、進学先である慶應義塾大学の10学部それぞれから求められる数学の知識が異なるため、進路に応じて必要な分野を選択することが可能です。



情報科

情報社会で活躍するための知識とスキルを習得することを目標としています。必修「情報Ⅰ」では、基本的な知識を習得し、Pythonプログラミングの基礎とOfficeソフトの活用技術を学びます。選択「情報Ⅱ」では、高度なプログラミング技術とマルチメディア編集に焦点を当て、表現力とコミュニケーション能力を高めます。選択「情報演習Ⅰ・Ⅱ」では、Pythonを用いたデータ分析や社会的問題に対する深い洞察力を養うことで、現代社会における幅広い課題に対応できる姿勢を習得します。



理科

自然現象に疑問をもち、実験・観察を通して確認し、その結果をもとに考える探究の過程を重視しています。物理基礎、化学基礎、生物基礎の3科目が必修科目で、進路や興味関心に応じて科目が選択できます。科学概念の普遍性と体系的な理論や物質の性質について、日常生活と関連付けながら、多様な視点からエネルギー、物質、生命、地球、宇宙について理解することを目標としています。広く宇宙をテーマとした「宇宙授業」などや、キャリア形成の一助となるよう企業見学も実施しています。





保健体育科

生涯にわたりよりよく充実した日々を過ごすためには、心身の健康が不可欠です。そのため授業では課題種目の技術習得とともに、自身の心身への気づきや他者とのコミュニケーション能力の育成、周囲の安全への配慮等、多くのことを学ぶ機会を設けています。保健の授業では、知識教育をより実践的な能力として定着させるため、心肺蘇生法や搬送等の実技実習も取り入れています。3年間で球技(5種目)・ラケット競技(3種目)・マット運動・ダンス・空手と幅広い種目に取組みます。



芸術科

物事を捉える「観る力」「聴く力」を養い、表現を豊かにすることを目標としています。1年生「美術」は陰影・混色をテーマに制作。「音楽」はアンサンブル、鑑賞、楽典、ソルフェージュ、音や詩の感度を高めます。2年生「絵画と工芸」は石膏デッサン、シルクスクリーン、陶芸やステンドグラスなど幅広く、「声楽と器楽」はヨーロッパ歌曲や重唱を通じて発声方法、独奏、音楽理論に及ぶ本格的なものです。楷書、行書、仮名を中心に古典の臨書、用筆法を養う「書道」も選択することができます。



外国語科

高校・大学で必要とされるアカデミックな言語運用能力、自律的に学習を続ける力、異文化を尊重する豊かな国際的感覚を養成することを目標としています。必修科目では、英語で論理的に自己表現をするための土台となる知識や技能を積み重ねます。選択科目では、時事英語・文学・プレゼンテーション・エッセイライティングなど、一人ひとりの興味関心にあわせて英語力を伸ばすことができるのに加え、第二外国語も履修可能です。国際社会で必要とされる対話力と柔軟な感覚を身に着けられます。



家庭科

人生100年時代。各発達課題に自分らしく取り組むための素地と、技術を身につけること、そしてそれを他と共有し、互いの生活をより豊かにすることを目標にしています。1・2年生の必修科目では従来の分野に加え、社会的マイノリティーとの共生をどう構築できるかなどを学習の主眼としています。また、2・3年生に設置されている自由選択科目では、必修科目で習得した知識を、技術面から強化することに主眼を置き、卒業後のニーズも活かした幅広い選択科目を設置しています。



現役大学生からみた教科の特色



(左) 女子高のときに選択していた中国語を、大学ではインテンシブコースで履修しています。高校から大学まで一貫して同じ言語を学び、高いレベルを目指すのは、女子高ならではの点だと思います。
70回生 法学部 政治学科 2年 M.O.さん

(左2番目) 国語は、今も教養として活かしています。女子高の先生の考察がきっかけで、大学の授業で『ころ』のレポートを書きました。作品を一年間かけて学んだことで、大学でもより知見を深められています。
70回生 商学部 2年 Y.H.さん

(右2番目) 大学で実際に教鞭を取られている先生から授業を受けられる点です。法学部の法律学科と政治学科どちらに進むか悩んでいましたが、授業を通して自分の適性に合った将来の進路を決めることに繋がりました。
69回生 法学部 法律学科 3年 A.S.さん

(右) 女子高の授業は専門性が高いことが魅力だと思います。特に遺伝子組み換え実験をした生物の授業はとても印象に残っており、文学部に進学した今でも教養科目や倫理の授業で役に立っています。
71回生 文学部 1年 H.I.さん

※ 学年は取材時点のものです。

年間日程

本校では、学問や知識だけでなく、様々な行事を通じて多角的な視点を養い、知性や情操を育てていきます。

4月 <i>April</i>	● 入学式 ● オリエンテーション ● 開校記念日(23日)		
5月 <i>May</i>	● 学年別旅行(1年研修旅行[草津]、2年研修旅行[奈良]、3年修学旅行[京都]) ● 実力テスト(1、2、3年) ● 校内対抗(スポーツ大会)		
6月 <i>June</i>	● 演劇会 ● 学部紹介		
7月 <i>July</i>	● 定期試験(1、2、3年) ● 夏季休業(20日頃から)		
8月 <i>August</i>			
9月 <i>September</i>	● 2学期開始(6日頃) ● 実力テスト(3年)	● 運動会	
10月 <i>October</i>	● 十月祭		
11月 <i>November</i>	● 実力テスト(1、2、3年)		
12月 <i>December</i>	● 定期試験(1、2年) ● 冬季休業(20日頃から)		
1月 <i>January</i>	● 3学期開始(8日頃) ● 福澤先生誕生日(10日)		● 定期試験(3年) ● 推薦入学試験
2月 <i>February</i>	● 福澤先生御命日(3日) ● 一般・帰国生入学試験		
3月 <i>March</i>	● 定期試験(1、2年) ● 卒業式 ● 春季休業(20日頃から)		



Three major events

三大行事

本校の年間最大行事は、6月の演劇会、9月の運動会、10月の十月祭です。生徒たちがすべてを企画運営します。演劇会では「クラス単位」、運動会では「全学年同クラス単位」、そして十月祭では「各クラブ単位」で、一つの目標に向かって力を合わせます。三年間で学年やクラスを超えた幅広い人間関係を築き、協調する力や人間力など大きな成長をもたらします。

6月 演劇会



Student's voice

役者から裏方仕事まで、クラス一丸となって舞台をつくります。

6月に開催される演劇会は、クラス全員で協力し劇を一から作り上げ、普段の学校生活では見ることのできない生徒の才能や魅力が存分に発揮される行事です。伝統を継承しつつ、その時々に応じてよりよい解決策を見出す難しさを実感しました。行事の運営を通して周りの意見を聞き、決断する力が身についたと思います。

(演劇会実行委員長 Y.K.さん 演劇会副実行委員長 S.K.さん)



9月 運動会



Student's voice

チームプレイや大会運営を通して、学年を超えた絆を深めます。

女子高の三大行事の一つである9月の運動会は女子高生の自熱した姿を見ることができます。実行委員が主体となり、夏休み前から準備を始め、本番を迎えます。学年の絆を超えた繋がりを持つ事ができるのも運動会の魅力の一つです。実行委員長を経て、自ら動くこと、大所帯をまとめることの難しさを経験することができました。

(運動会実行委員長 A.T.さん 運動会副実行委員長 H.H.さん)



10月 十月祭



Student's voice

伝統ある文化祭。クラブごとに力が入った催しが盛り沢山。

唯一の外部公開行事である十月祭は、クラブ単位で参加するため、クラスや学年を超えた繋がりを深めることができます。「青春の発露」の場として生徒が個性とアイデアを最大限に発揮できるように、実行委員会が毎日話し合いました。安全な進行を守りながら自由を認めることの難しさを学び、広い視野で物事を考えられるようになりました。

(十月祭実行委員長 S.K.さん 十月祭副実行委員長 M.H.さん)



学校生活



生徒会

本校の生徒会は、生徒によって自主的に運営されており、生徒会長、副会長を中心として、様々な委員に分かれて活動しています。日常生活のあり方から、服装、三大行事でのふるまい方まで、生徒たちが自らの学校生活を向上させるためのシステムを作りあげています。4月のオリエンテーションも生徒会が中心となって行ないます。堅苦しいことは一切なしのショータイム。新入生歓迎の気持ちをこめて、生徒の視点で楽しく女子高生活を紹介します。



Student's voice



自分たちのちからで創る

私たち生徒会は、女子高生の生活が少しでも快適なものになるよう代表委員会で話し合いを重ねています。活動内容は新入生のためのオリエンテーションや十月祭での展示発表などさまざまです。一年間の任期を通じ、学校という大きな組織を動かす上で計画力の重要性を学びました。生徒会という形で女子高に関われたことを、心から誇りに思います。

(生徒会長 N.S. さん 副生徒会長 M.H. さん)



クラブ活動

本校では健全なクラブ活動を奨励しています。文化系と体育系をあわせて30以上のクラブがあります。これらのクラブは本校生徒が単独で活動するもの、日吉の慶應義塾高等学校と連携で活動するもの、大学生の指導を受けるものなどさまざまですが、どのクラブに入っても高校時代に自分の力を伸ばし、新たな自分を発見することができます。

文化系クラブ

- アイリッシュハープアンサンブル ● 英語会 ● 演劇部 ● 楽友会 ● 華道部 ● 奇術部
- 軽音楽部 ● 茶道部 ● 生物研究会 ● 電子計算機研究会 ● 天文研究会 ● 美術部
- 漫画研究会 ● マンドリンクラブ ● ワグネル・ソサイエティ・オーケストラ ● クッキング同好会



アイリッシュハープアンサンブル



奇術部



華道部



茶道部



生物研究会



ワグネル・ソサイエティ・オーケストラ

体育系クラブ

- アーチェリークラブ ● 弓術部 ● 競走部 ● 剣道部 ● ゴルフ部 ● 水泳部
- スキー部 ● スケート部 ● 卓球部 ● 庭球部 ● 馬術部 ● バスケットボール部
- バドミントン部 ● バトン部 ● バレーボール部 ● ラクロス部



スキー部



弓術部



庭球部



馬術部



バトン部



ラクロス部

国際交流



本校には、「慶應義塾一貫教育校派遣留学制度」をはじめとする長期・短期の様々な留学プログラムが用意されており、海外名門校への留学の機会が設けられています。生徒たちは、ホームステイや寮生活を送りながら、現地の高校に通学し、授業やクラブ活動などに参加することができます。また、国際ロータリークラブを通じた、アメリカ、メキシコ、タイ、ヨーロッパ諸国からの長期留学生や、短期交換留学プログラムの留学生の受け入れも行なっています。これらの国際交流は、外国語によるコミュニケーションの上達とともに、異文化理解を深め、国際的な視野を広げる育成に役立っています。

プログラム名	留学先・期間	応募資格	人数	備考
慶應義塾一貫教育校派遣留学制度	高3(米国)コース Phillips Academy Andover …1年間 Phillips Exeter Academy …1年間	2年生	慶應義塾一貫教育校(高校段階)全体で、留学先ごとに1名ずつ	現地高校通学・学校寮
	高2(米国)コース Deerfield Academy …1年間 The Taft School …1年間 The Hotchkiss School …1年間 Choate Rosemary Hall …1年間 The Governor's Academy …1年間	1年生		
	高2(英国)コース Shrewsbury School …1年間	1年生		
ニュージーランドプログラム	クライストチャーチ ① Rangitikei Girls' School …3週間(2～3月) ② St Margaret's College …3週間(2～3月)	3年生	①約5名 ②約3名	現地高校通学・ホームステイ
	ダニーデン Columba College …3週間(2～3月)	3年生	約6名	現地高校通学・ホームステイ
イギリスプログラム	ホーシャム Christ's Hospital …3週間(2～3月)	3年生	約3名	現地高校通学・学校寮
Downe House School 短期交換留学プログラム	サッチャム Downe House School …2週間(3月)	1・2年生	2名	現地高校通学・学校寮
国際ロータリークラブ 青少年交換プログラム	フランス・ドイツ・ オーストラリア・メキシコ他…1年間	1・2年生	1～2名	現地高校通学・ホームステイ
AFS年間派遣プログラム	アメリカ・イタリア他…1年間	1・2年生	特に制限なし	現地高校通学・ホームステイ

Student's voice



留学で新しい自分を見つける

ボーディングスクールでは、多様なバックグラウンドを持つ多才な仲間と寝食を共にし、毎日良い刺激を受けました。私も、勉強だけでなく、ボートやクリケット、オーケストラ、ボランティアなどの活動にも積極的に取り組みました。素晴らしい環境の中で新しいことに挑戦し、自分の可能性を広げることができた貴重な一年間でした。

(慶應義塾一貫校派遣留学制度 高2(英国)コース Shrewsbury School 留学 Y.S. さん)



大学や社会との繋がり

生徒が主体的に考えて将来の進路を決定できるよう、高校三年間を通じて様々な情報と機会を提供しています。

慶應義塾大学の学部について知る機会

本校の卒業生は原則として全員慶應義塾大学へ推薦されます。進路を考えるために、本校主催の学部紹介や大学主催の見学会などに参加できます。

1. 本校主催の学部紹介

慶應義塾大学のすべての学部（10学部）の説明会を行なっています。各学部の先生の話をも直接聞くことができます。生徒だけでなく保護者も参加可能です。



2. 大学主催の見学会など

種類	学部
見学会・説明会	文学部（日吉キャンパス）・医学部（信濃町キャンパス）・理工学部（矢上キャンパス）・薬学部（芝共立キャンパス）
実験体験	薬学部（芝共立キャンパス）
模擬授業（動画視聴）	文学部・経済学部・法学部・商学部

※実施の有無、時期などは年度ごとに異なります。

将来について考える機会

1. 総合的な探究の時間

総合的な探究の時間（テーマ学習）や放課後に、様々な分野で活躍する卒業生の話をも聞く機会を設けています。

2. 高大連携授業

文学部の人文科学特論、理工学部の数学など、慶應義塾大学の先生による大学1年の授業を日吉キャンパスで受講することができます。取得した単位は、条件を満たせば進学後に大学の単位として振り替えることもできます。

3. 職業紹介

公認会計士協会による職業紹介（隔年実施）、法科大学院・法曹に関する講演会（隔年実施）、工場見学や企業訪問などを通じて、職業について直接知る機会を設けています。

進路指導

生徒と教員が気軽に話し合える校風である本校では、担任や教科担当教員が生徒への声掛けや進路面談を積極的に行なっています。

萌木

女子高の校誌『萌木』は1965年度に創刊、本年度まで毎年刊行されています。編集はすべて「萌木委員」となった生徒が担当します。行事紹介や随想、クラブ活動、生徒会報告など、その年の学校生活が生き生きと表現されています。巻末には教員や事務による一年間の業務や活動も詳しく報告されており、学校運営の記録ともなっています。女子高の「今」が一冊に凝縮された校誌です。



学校施設



本校は、元徳川邸の敷地に建てられたため、武家屋敷の片鱗を留めています。純日本風の門や幾種もの樹木が繁る日本庭園があり、都心でありながら情緒ある雰囲気を与えています。2014年度より別館校舎が加わりさらに充実した学習環境が整いました。

また、女子生徒が安心・安全で快適な学校生活を送れるよう、様々な施設が整っています。慶應義塾大学保健管理センターなどの医師が校医として勤務している保健室・カウンセリングルーム、24時間警備員の配置、校舎外周は弾力性のある路面となっています。そして、焼きたてパンが名物の食堂ホール、大きな鏡やウォシュレット機能を設置した洗面所、いつでも自由に先生や生徒たちが団欒できる談話室などがあります。クラブ活動や課外活動・自習などでは、慶應義塾大学などの様々な施設を利用しています。





Access

アクセスマップ



住所・連絡先

〒108-0073 東京都港区三田 2-17-23
tel.03-5427-1674 fax.03-5427-1675
<http://www.gshs.keio.ac.jp>
e-mail inquiry@gshs.keio.ac.jp

交通アクセス

JR 田町駅 徒歩 10分
都営地下鉄 三田駅 徒歩 8分
東京メトロ・都営地下鉄 白金高輪駅 徒歩 10分
東京メトロ・都営地下鉄 麻布十番駅 徒歩 20分
都営地下鉄 赤羽橋駅 徒歩 20分

慶應義塾女子高等学校

〒108-0073 東京都港区三田 2-17-23

tel.03-5427-1674 fax.03-5427-1675 <http://www.gshs.keio.ac.jp>

